

# ほくほく鬼北 家族の絆

## 過去は振り返らず前向きに

井上

直人<sup>なおひと</sup>さん  
有美<sup>ゆみ</sup>子さん

みな<sup>み</sup>実<sup>み</sup>ちゃん  
成<sup>なる</sup>くん

護<sup>まもる</sup>さん  
津<sup>つ</sup>八<sup>や</sup>子<sup>こ</sup>さん

加<sup>か</sup>一<sup>い</sup>くん



興野々に住む井上さん家族。年中通して週末は海でサーフィンを楽しむアクティブファミリー。

共働きの直人さんと有美さんは、仕事で帰りが遅くなることもよくあるそう。しかし、長女のみな実ちゃんが弟の面倒をしっかりと見てくれて助かっていると話します。

来年から小学生の長男成くんはマイペースなおっとりさん。将来はレーサーになるのが夢という二男の加一くんは、姉弟の中でも意外にもみんなをひっぱる存在。護さんと津八子さんは、そんな孫たちの面倒を見ることが一番の楽しみで、毎日保育園の送り迎えが日課です。

ある日、みな実ちゃんが家族全員で食事に行こうと言い、出かけた時のこと。「みんな、いつもありがとう」と亥の子でもらったお金で家族に食事をご馳走しました。「あの子の『お世話になってるから』という言葉に感動しました」と両親は目を細めます。

とにかく明るい井上さんは、「過去を振り返ってよくよしても仕方ない。家族との時間を大切にしつつ、今までどおり笑顔を絶やさず楽しく過ごしたい。そして思い出をいっぱい作りたい」と話していました。次回は直人さんの同級生である芝晃さんご家族です。

### 編集後記

▼東日本大震災から1年が経ちました。相変わらず何もできないばかりか、逆に励まされてばかりの自分に無力さを感じます。

▼「四万十街道ひなまつり」で作られたマップ通りに歩いてみると、昔ながらの風景がありました。家と家の間の小さい生活道や、国道に架かった大きな橋の下に地元の人だけが利用するひっそりと架けられた橋。なぜか懐かしさのようなものを感じ、癒されました。(末)

